



ハント リストの設定

ハント リストは、1 組の回線グループを特定の順序で一覧表示します。また、ハント リストは、1 つ以上のハント パイロットに関連付けられ、その回線グループがアクセスされる順位を決定します。この順位は、着信コールに使用可能な電話番号を検索するときの進行を制御します。

ハント リストは、回線グループによって定義された電話番号の集合から構成されます。Cisco Unified Communications Manager が指定ハント リストを使用してルーティングすべきコールを判別すると、そのリストに指定されている回線グループの順位に基づいて、Cisco Unified Communications Manager は最初に使用可能なデバイスを検出します。



(注)

グループ コール ピックアップ機能とダイレクト コール ピックアップ機能は、ハント リストでは使用できません。

ハント リストには、回線グループだけを入れることができます。各ハント リストには、少なくとも 1 つの回線グループを入れる必要があります。各回線グループには、少なくとも 1 つの電話番号が含まれます。1 つの回線グループが複数のハント リストに表示される場合があります。

ハント リストの追加または削除、ハント リスト内の回線グループの追加、削除、または順序の変更、または設定変更の影響を受ける回線グループと設定変更を同期化するには、次のトピックを参照してください。

- 「ハント リストの検索」(P.35-1)
- 「ハント リストの追加」(P.35-3)
- 「ハント リストへの回線グループの追加」(P.35-4)
- 「ハント リストからの回線グループの削除」(P.35-5)
- 「ハント リスト内の回線グループの順位の変更」(P.35-6)
- 「ハント リストと影響を受ける回線グループとの同期化」(P.35-6)
- 「ハント リストの削除」(P.35-7)

ハント リストの検索

ネットワーク内にはいくつかのハント リストが存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager では、条件を指定して、特定のハント リストを見つけることができます。ハント リストを見つけるには、次の手順を使用します。

**(注)**

Cisco Unified Communications Manager の管理 では、ブラウザセッションでの作業中は、ハントリストの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ハントリストの検索設定は保持されます。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ハントリスト (Hunt List)] の順に選択します。
- [ハントリストの検索と一覧表示 (Find and List Hunt Lists)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。
- ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、**ステップ 3** に進んでください。
- レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。
- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。

**(注)**

検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

- ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。
- 一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。

**(注)**

該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

- ステップ 4** レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。

**(注)**

リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.35-7) を参照してください。

ハントリストの追加

ハントリストを追加する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ハントリスト (Hunt List)] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [名前 (Name)] フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、およびアンダースコア (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各ハントリスト名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。



ワンポイントアドバイス

ハントリストには、内容を簡潔に表す名前を使用してください。通常、`CompanynameLocationCalltype` の形式が、内容を簡潔に表し、ハントリストをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「CiscoDallasMetro」は、Dallas の Cisco オフィスからの、Local Access Transport Area (LATA) 間の無料コール用のハントリストを特定します。

- ステップ 4** [説明 (Description)] フィールドに説明を入力します。
- ステップ 5** ドロップダウンリストボックスから Cisco Unified Communications Manager グループを選択します。



(注) ハントリストは、プライマリ Cisco Unified Communications Manager として、Cisco Unified Communications Manager グループで最初の Cisco Unified Communications Manager に登録されます。



(注) Cisco Unified Communications Manager が 1 つしか設定されていない Cisco Unified Communications Manager グループを選択すると、次の警告が表示されます。

警告: 選択された Cisco Unified Communications Manager グループに Cisco Unified Communications Manager が 1 つしか設定されていません。冗長性確保のための制御プロセスのため、2 つ以上の Cisco Unified Communications Manager を含む Cisco Unified Communications Manager グループを選択してください。

- ステップ 6** このハントリストをボイスメールに使用する場合は、[ボイスメール用 (For Voice Mail Usage)] チェックボックスをオンにします。

- ステップ 7** [保存 (Save)] をクリックして、このハントリストを追加します。



(注) コールを受信させるため、このハントリストに回線グループを少なくとも 1 つ追加する必要があります。あることを示すポップアップメッセージが表示されます。

[ハントリストの設定 (Hunt List Configuration)] ウィンドウに、新しく追加されたハントリストが表示されます。

- ステップ 8** 新しいハントリストの [このハントリストを有効にする (Enable this Hunt List)] チェックボックスは、デフォルトでオンになっています。

このハント リストを使用不可にする場合は、このチェックボックスをオフにします。進行中のコールは影響を受けないが、このハント リストが追加のコールを受け付けなくなることを示す、ポップアップ ウィンドウが表示されます。

ステップ 9 新しいハント リストに少なくとも 1 つの回線グループを追加します。

このリストに回線グループを追加するには、[回線グループの追加 (Add Line Group)] をクリックし、「ハント リストへの回線グループの追加」(P.35-4) のステップ 3 ～ステップ 6 を実行します。

追加情報

「関連項目」(P.35-7) を参照してください。

ハント リストへの回線グループの追加

新規のハント リストまたは既存のハント リストに、回線グループを追加できます。回線グループは、1 つ以上のハント リストに組み込むことができます。既存のハント リストに回線グループを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

この手順を実行する場合は、事前に 1 つ以上の回線グループを作成し、ハント リストを追加しておく必要があります。

手順

ステップ 1 [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ハントリスト (Hunt List)] の順に選択します。

ステップ 2 回線グループを追加する先のハント リストを特定します。「ハント リストの検索」(P.35-1) を参照してください。

ステップ 3 [回線グループの追加 (Add Line Group)] をクリックして、回線グループを追加します。
[ハントリスト詳細の設定 (Hunt List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [回線グループ (Line Group)] ドロップダウン リスト ボックスから、ハント リストに追加する回線グループを選択します。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックして、回線グループを追加します。

[選択されたグループ (Selected Groups)] ペインに、回線グループ名が表示されます。



(注) 追加した回線グループは、[ハントリストの設定 (Hunt List Configuration)] ウィンドウの一番下にある [ハントリスト詳細 (Hunt List Details)] ペインにも表示されます。回線グループに変更を加えるには、回線グループ名をクリックします。その回線グループの [回線グループの設定 (Line Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 このリストに回線グループをさらに追加するには、[回線グループの追加 (Add Line Group)] をクリックし、ステップ 3 ～ステップ 5 を実行します。

ステップ 7 ハント リストへの回線グループの追加が終了したら、[保存 (Save)] をクリックします。



(注) 次のステップ 8 に進むかどうかを決定する前に、「ハントリストと影響を受ける回線グループとの同期化」(P.35-6) を参照してください。

ステップ 8 ハントリストをリセットするには、[リセット (Reset)] をクリックします。ポップアップ ウィンドウが表示されたら、[リセット (Reset)] をクリックします。

追加情報

「関連項目」(P.35-7) を参照してください。

ハントリストからの回線グループの削除

新規のハントリストまたは既存のハントリストから、回線グループを削除できます。既存のハントリストから回線グループを削除する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 メニューバーから [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ハントリスト (Hunt List)] の順に選択します。

ステップ 2 削除する回線グループが入っているハントリストを特定します。「ハントリストの検索」(P.35-1) を参照してください。

ステップ 3 [選択されたグループ (Selected Groups)] リストから、回線グループ名を選択します。



(注) このリストから複数の回線グループを選択するには、**Shift** キーを押し、目的の回線グループをクリックしてください。

ステップ 4 [選択されたグループ (Selected Groups)] リスト ボックスの下にある下矢印をクリックして、選択した回線グループを [削除されたグループ (Removed Groups)] リストに移動します。

ステップ 5 回線グループを削除するには、[保存 (Save)] をクリックします。[OK] をクリックすると、ページが更新されたときに、その回線グループがハントリストの [選択されたグループ (Selected Groups)] ペインから削除されています。

ステップ 6 [リセット (Reset)] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップ ウィンドウの [リセット (Reset)] と [閉じる (Close)] をクリックします。

追加情報

「関連項目」(P.35-7) を参照してください。

ハント リスト内の回線グループの順位の変更

Cisco Unified Communications Manager は、ハント リストに表示されている順に、回線グループにアクセスします。回線グループのアクセス順位を変更する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ハントリスト (Hunt List)] の順に選択します。
 - ステップ 2** 回線グループの順位を変更するハント リストを特定します。「[ハント リストの検索](#)」(P.35-1) を参照してください。
 - ステップ 3** [選択されたグループ (Selected Groups)] リストから、回線グループを選択します。
 - ステップ 4** リスト内で回線グループを上下に移動させるには、回線グループを選択して、リスト ボックスの右側にある上矢印または下矢印をクリックします。
 - ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 6** [リセット (Reset)] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップ ウィンドウの [リセット (Reset)] と [閉じる (Close)] をクリックします。
-

追加情報

「[関連項目](#)」(P.35-7) を参照してください。

ハント リストと影響を受ける回線グループとの同期化

設定変更されたハント リストと回線グループを同期させる手順は、次のとおりです。この手順によって、中断を最小限に抑えた方法で未処理の設定が適用されます (たとえば、影響を受けるデバイスの一部は、リセットまたはリスタートが必要な場合があります)。

手順

-
- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ハントリスト (Hunt List)] の順に選択します。
[ハントリストの検索と一覧表示 (Find and List Hunt Lists)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。
 - ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。
検索条件に一致するハント リストがウィンドウに表示されます。
 - ステップ 4** 適用可能な回線グループを同期化するハント リストの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内のハント リストをすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 5** [選択項目への設定の適用 (Apply Config to Selected)] をクリックします。
[設定情報の適用 (Apply Configuration Information)] ダイアログが表示されます。
 - ステップ 6** [OK] をクリックします。
-

追加情報

「[関連項目](#)」(P.35-7) を参照してください。

ハントリストの削除

Cisco Unified Communications Manager は、回線グループおよびハントパイロットにハントリストを関連付けます。ただし、ハントリストが削除されても、回線グループおよびハントパイロットは削除されません。ハントリストを使用しているハントパイロットを検索するには、[ハントリストの設定 (Hunt List Configuration)] ウィンドウの [依存関係レコード (Dependency Records)] リンクをクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。

**ヒント**

回線グループとハントパイロットを削除するには、まずハントパイロットを削除し、次にハントリストを削除して、最後に回線グループを削除します。

ハントリストを削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ハントリスト (Hunt List)] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するハントリストを見つけます。「[ハントリストの検索](#)」(P.35-1) を参照してください。
- ステップ 3** [削除 (Delete)] をクリックします。
ハントリストを削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** ハントリストを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル (Cancel)] をクリックします。

**注意**

ハントリストが 1 つ以上のハントパイロットに関連付けられている場合、そのリストは削除できません。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.35-7) を参照してください。

関連項目

- 「[ハントリストの検索](#)」(P.35-1)
- 「[ハントリストの追加](#)」(P.35-3)
- 「[ハントリストへの回線グループの追加](#)」(P.35-4)
- 「[ハントリストからの回線グループの削除](#)」(P.35-5)
- 「[ハントリスト内の回線グループの順位の変更](#)」(P.35-6)

- 「ハント リストと影響を受ける回線グループとの同期化」 (P.35-6)
- 「ハント リストの削除」 (P.35-7)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ルートプランの概要」